

## アメリカ・カストロ

セルバンテスの芸術と様式を文学的観点から理解するためには、彼の、新キリスト教徒という血統についての条件を見据えておく必要がある。そこには、書く者としての孤立した精神と、自らを取り巻く社会が示す抵抗との間の緊張が見られる。「……」セルバンテスは血統間の対立を、人間的・キリスト教的なかたちで問題にした。「……」セルバンテスの作品においては、いまだ「三」の血統（キリスト教徒、モーロ人、ユダヤ人）が、理想的・人間的なかたちで共存している。

## ミハイル・バフチン

小説的散文の全体に与えた決定的な影響という点から見ると、ラフレーと並び立つ存在であり、若干の点において、彼をしのぎさえしているのがセルバンテスである。

## カルロス・フエンテス

セルバンテスとジョイスは二つの最高の規範であり、彼らを通して近代のフィクションは、極端なまでに、さまざまな意図を統合し、白ちを認識する。その間に三世紀の隔たりはあるものの、彼らの言葉は小説の「最初の」言葉であり、アルファ/オメガ、そしてオメガ/アルファである。

## ミラン・クンデラ

世界を画義的なものと捉え、絶対的な真理のかわりに、互いに矛盾するかもしれない複数の相対的な真理を掲げ、それに刃向うすべての主義主張と幻影とに対決していくことを教えてくれたのは、唯一、セルバンテスの『ドン・キホーテ』だ。

### 【本全集の特色】

- 没後四〇〇年（二〇一六年）を記念し、近代的な意味での《小説》（さらには《メタ小説》）の創始者にして、『スペイン黄金世紀』文学の最高峰、セルバンテスの全作品を集成する本邦初の試みです。
- 日本の第一線のセルバンテス研究者による、正確で読みやすい訳文です。
- 各巻に、近年の研究成果を反映した詳細で充実した注と解説を付し、セルバンテスの人と文学への理解を深めます。
- 未永く愛読するにふさわしい、堅牢な造本と美麗な装幀です。（装幀＝西山孝司）

### 【申込書】

本状を最寄りの書店をお持ちの上、ご注文ください。

【アマゾンでは販売しておりません】

|           |                        |                       |                   |
|-----------|------------------------|-----------------------|-------------------|
| 水声社       | 〒二二〇〇〇二 東京都文京区小石川二一〇ー一 | いろは館二〇二 電話〇三三三八一八六〇四〇 | ファックス〇三三三八一八一四三三七 |
| セルバンテス全集の | 第 巻を                   | 冊申し込みます。              |                   |
| 全巻セットを    |                        | セット申し込みます。            |                   |
| お名前       |                        |                       |                   |
| ご住所       |                        |                       |                   |
|           | 書店(番線)印                |                       |                   |



# セルバンテス全集 [全7巻]

水声社

責任編集 鼓直 / 編集委員 萩内勝之・田尻陽一・樋口正義・本田誠二

## ドストエフスキー

『ドン・キホーテ』には、人間の心の洞察者である偉大な詩人によって、人間の魂の最も深い、最も神秘的な一面が見事にえぐり出されている。これは偉大な書である。現今、書かれているようなものではない。数百年に一冊、人類に贈られるような書物なのである。

## オルテガ・イ・ガセー

この、滑稽を装ったつましい小説よりも深遠な書物があるだろうか。「……」ドン・キホーテは心と心の多義性である。「……」生の普遍的な意味への象徴的な暗示がこれほど強力で、同時に、自身自身を説き明かすためのヒントや目じるしがこれほどとくなく書物は存在しない。

## 頌

## テス

## ミシエル・フーコー

『ドン・キホーテ』は近代の最初の作品である。なぜならそこでは、同一性と相違性との残酷な理性が、記号と相似とをはてしなく弄ぶのが見られるからであり、言語が物との古い近縁関係を断絶して、あの孤独な王者の地位に引きこもるからである。「……」相似と記号との関係がひとたび解かれるや、二つの経験が成立し、二人の人物が同じ合点で登場するところが可能になる。